

2016年10月

# グリーンクラブだより Vol. 12

グリーンクラブのみなさん、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。暑さ寒さも彼岸までと言いますが、だいぶ涼しくなり、秋を感じる季節になってきましたね。

約1ヶ月後に第2回目の花苗を配布します。冬花壇を華やかに彩る準備をはじめましょう。みなさんがご近所でお花を育ててくださることで、街の美化が広がっていきます。今後ともよろしく願いいたします。

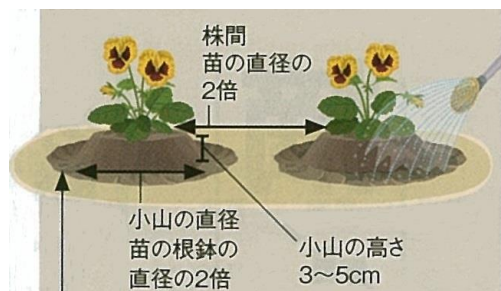
## ◀配布の花苗について▶

### ○ストック○



古代ギリシャやローマ時代から薬用に使われていたそうです。花には芳香があり、切り花としても広く栽培されている草花です。日当たりの良い場所を好みます。比較的耐寒性はありますが、霜に当たると枯れてしまいます。過湿にすると根ぐされをおこしてしまいますので、土の表面が乾いてからたっぷりと水を与えるようにします。花からは、こまめにとりのぞきましょう。

### ○パンジー・ビオラの栽培○



ドーナツ状に深さ1cm程度の溝を掘り、水をあげると、根が伸びる部分に届きやすくなります。

### ～植え時期と植え方～

1. 最高気温が25℃以下で、特に夜の気温が20℃以下になるころを目安に植えます。最低気温が5℃になるころまでには、植えつけを終えます。だいたい10月中旬から11月中旬が植え付け適期です。
2. 苗の根鉢の肩を軽く落とした部分を、少し浮かせて高植えすると、根がよく育ちます。花壇は乾きにくいので、土で小山をつくった上に1株ずつ植えつけると、株元が乾きやすく、徒長や下の葉の黄化防止になります。



### ～植え付け後の管理～

花が枯れたあと、そのままにしておくと実ができますが、栄養をとられてしまいます。長く花を楽しむためには、枯れた花はこまめに摘み取り、いつも株がきれいな状態を保つようにしましょう。枯れた花びらだけをとるのではなく、花茎を付け根から折り取るようにします。茎葉が十分に水を吸ってパリッとしている状態の方が、きれいに折れやすいです。

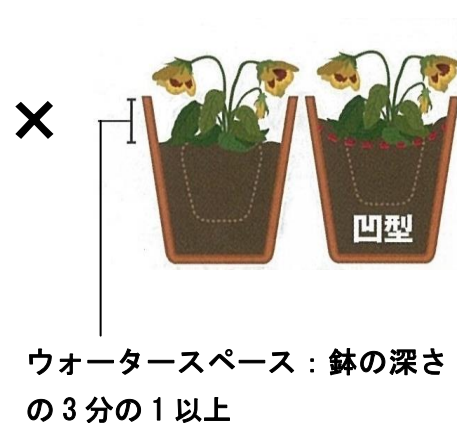
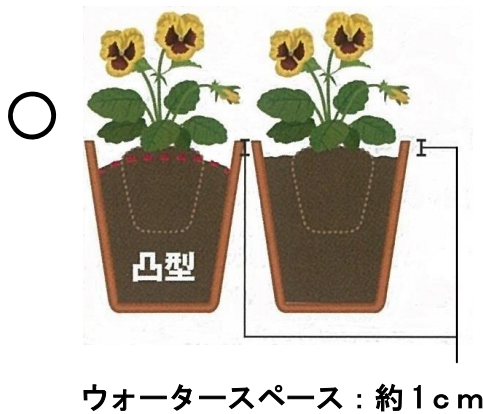
### ～ご自宅で鉢植えの場合は…～

#### 1. 土づくり

- ・古い土は、根やゴミを取り除き、風通しの良い日なたで乾かします。
- ・15Lのパケツに、3目盛り分の腐葉土と赤土小粒を2目盛り分入れます。
- ・緩効性肥料と有機石灰を加えます。
- ・乾いた古土をいれます。
- ・移植ゴテなどでよく混ぜ合わせます。混ぜにくいときはシートなどを広げてまぜましょう。

#### 2. 植え方と水やり

ウォータースペースが深すぎると、土の表面に風が当たらず土が乾きにくくなり、さらに、株元へ光があたりにくくなってしまいます。水やりは株元にていねいに2～3回に分けて、じゅうぶんにあげます。その後は土の表面が乾いてから水をあげましょう。冬は低温で、なかなか土が乾かないので、加湿にならないように注意しましょう。



グリーンクラブ研修会のお知らせを同封しました。普段どうしていいかと困っていることなど、先生に聞いてみるチャンスです。みなさま、お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

ご意見・お問い合わせはお気軽にどうぞ

目黒区みどりと公園課利用係

Tel: 5722 - 9242

Fax: 3792 - 2112

Email: midori06@city.meguro.tokyo.jp

